



19.11.26 厚生福祉委員会開催

この包括支援センターの事業をどう説明しているのか。  
**A**：現状では人手が足りず、とても地域には入って行けない。地域サロンができてきたのでそれを支援していきたいのだが、

現状ではそれもなかなかできない。  
**3 後期高齢者医療制度について**  
 保険料などの詳細は、11月27日の広域議会臨時会で決定するので、それを待ちたい。なお老人保険特別会

計は、平成22年までは事務的な仕事が残るので、会計も残るだろう。

### 主な質疑

**Q**：後期高齢者医療の保険料は国保の保険料と比べどうか。  
**A**：当初は国保の9割くらいになるかと思っていたのだが、実際は同等くらいだろう。

**Q**：老人保険の際の町持ち出しと、新たな制度になったときの持ち出しは、どちらが多いか。  
**A**：新たな制度の方がやや多くなる。

**Q**：健康診断はメタボの検診が中心になるとのことだが、人間ドックの事業はどうなるのか。  
**A**：40歳～74歳の人間ドック事業は今まで通り実施する。75歳以上は、制度の範疇の中で実施する。

**Q**：今までは被扶養者として保険料を自分では支払わなかった人も、今後は納めなければならないが、

計は、平成22年までは事務的な仕事が残るので、会計も残るだろう。

### 開会中の委員会審査

平成19年12月12日  
 ●議案第66号  
 平成19年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

■審査の結果  
 「全員賛成で可決すべきものと決定」

既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ1千491万3千円を追加し、予算総額を10億9千684万4千円とするもの。主要な要因の一つは、退職被保険者の医療給付費が1・56倍に増える見

そういう人は湯沢にはどれくらいいるのか。  
**A**：75歳以上の15%～20%くらいだろう。  
**Q**：65～74歳の傷害者は、この新たな制度に入っても入らなくてもよいという扱いになるが、湯沢ではどうするつもりか。  
**A**：入ってもらおうよう勧めたい。

### 主な質疑

**Q**：出産見込み10人減とのことだが、町としての少子化対策はあるのか。  
**A**：他の市町村では子育て支援センターの活動に惹かれて移住したという例もあるので、湯沢町も安心して子育てできる制度を考えていきたい。

**Q**：特定検診とは何か。  
**A**：来年から生活習慣病の予防に力を入れた検診を実施することになったのだが、その検診のことである。

**Q**：特定検診が実施される

込みなので2千729万8千円を追加したこと、二つは、出産育児一時金を24人分840万円と見込んでいたが14人分を見込めば済むみとおしになったので10人分（350万円）を減額したこと、三つには、葬祭費を76人分見込んでいたが62人を見込めばよい見通しになったので72万5千円を減額したものの、などによる補正である。